

トハシク 3 めじれこ、おしゃり出でいであがるね

右耳・顎

( akr\_0160) あかこ「 .....おじれこ、今田ひなみの田だか知りへれ。」

( akr\_0161) あかこ「 ふふひ .....あのね、今田せあかりがいじじに来て一週間が  
経ったの。それから.....おじさんか動くのをやめて  
一週間.....だよ。」

( akr\_0162) あかこ「 .....ドモ、入り口へなに変わるんだね」

( akr\_0163) あかこ「 井田井田、おじさんじへじへじて耳をせむせむしてた、  
おじれこもあかこかい離れられなくなつて.....」

( akr\_0164) あかこ「 おじさんからも、だくさんチューしてくれるよいなつたし、  
かく幸せ.....おじさんがあかりに濡れてくれて嬉しい.....」

正面・近め

( akr\_0165) あかこ「 え.....わきい .....むきいわきい、わきい .....くす  
おじれこせじじ ふじしなきやダメ.....今田せ、あかりが  
チューするの .....」

( akr\_0166) あかこ「 .....だつて、おじれこのか一するじんだもく。  
唇をくつり付だる、口へ .....舌がにゅるをぬぐひて  
入つしゃれて.....」

( akr\_0167) あかこ「 あかりもがんばりし動かしいるのじ、氣がついた、頭の中が  
真い白になつて、くたつてになつやうの.....」

( akr\_0168) あかこ「 ものぐるこ .....おじれこのか一トキくじふだよ。  
せんとく .....せんとくすく .....」

へいおじれこ (壁立かぐみの顔や)

( akr\_0169) あかこ「 .....黙じ丑つだら、胸がシキシキヤコレがやつた」

顔を上がる (正面・近め)

( akr\_0170) あかこ「 ものぐるこ .....あかりもおじれこみたいじ .....かく .....かく .....  
ぞれぬるむか .....そひく .....そひく .....そひく .....」

( akr\_0171) あかこ「 ものぐるこ .....おじれこみたいじ .....かく .....ひねり .....そひく、  
れひり .....かく .....そひく .....かく .....かく .....れひり .....そひく .....れひり .....」

( akr\_0172) あかこ「 せあひ、おじれこ待つてひつて .....  
れひり、かく .....せあひなひ .....そひく、れひり、  
れひり .....かく .....そひく .....れひり .....」

正面・近め

( akr\_0173) ねかう「 なんりん、なんり ..... カヌハ ..... れひ、はあ、わなひ ..... れひ、わなひ、わなひ ..... れひ ..... わなひ ..... はあ ..... 」

( akr\_0174) ねがつ「…………おじやこのね…………か！」おれい…………ねがつ「…………はあ…………何も…………やきくなつたやい…………」

( akr\_0175) めかづ「早くあからしもねえやんまだ」になつた」  
「おれのやうな動かすの……」

## 後方・遠め

( akr\_0176) エカツ「…………あ、おじねえど」「」  
離れぢやだ……あから離れないぢ?」

マイクに近付きながら

右耳・近め

( akr\_0178) エカツ「おじやご、おトヤンヒの風呂に入れるが弱いところせ  
おかしいと感ひ」

( akr\_0179) ねかこ「 ものふたりがこゝへしゃりできたる、  
格闘にて中へゆき、ひしめくがゆき」

右耳・囁き

( akr\_0181) あかり「おじやさんがおじつ」あると「あかりが見ててあげる」

出羽・黒川「おおきなおじさん」

正面 · 逆反

( akr\_0182) あかり「…………え、うーってそんなに恥ずかしがつてゐるのーあかり、ねじせんの裸を見ても平氣だよー。」

( akr\_0183) ねかっ「 横に睨みられるのも.....最初は恥ずかしい時ハサビ.....  
ねじれんに裸を睨みられるのは平氣.....」

( akr\_0184) めかで「…………ふふ、ここに恋してた。  
ねじれで、早くおアーレに出てこいっ。」

マイクに背を向けて遠ざかる

## ■S E .. トイレのドア開く

後方・近め

( akr\_0186) ねから「 ねじねぐ、早く入れいれ。 ねじねじだから たんじょいへ。」

( akr\_0187) ねかり「 大丈夫、恥ずかしいのせまいと最初だけ……」の先ずつと、いつしょにねトイレいくんだもん……」

左耳・囁き

( akr\_0188) あから「……わちわんあかりがある壁も、だよ。」

( akr\_0189) ねから「おじさんのお洋服、脱がすね…………」

■ S E .. ベルトを外す & チヤツクを下ろす

正言 月刊 1980年 1月号

卷之三

( akr\_0192) あか「…………なに…………！」れ…………おじやさんの体…………あかのと違つ…………あかりに「そなのうじにならなよ～」。

( akr\_0133 ) あから 」「そ……」の棒みたいなの……触りても平氣?

## 顔を上げる

（アーノルド）あがい……おこがまの体にて面白く興味がわいておが

卷之三

「くだんしゃくって、どういふ意味?」

（あかり）あかり  
（じよ）冗談でひどいよ。  
あかりは眞面目に訊いてるのに……」

正面・座りながらうつむく（ペニスを覗き込んでるイメージ）

( akr\_0198) あかり「 いじの、おじやく。」 れ……  
にぐだんしゃくへいじゅう呼び方で……

顔を上げる（正面・座った状態で）

( akr\_0199) めかづ「……………ん…ねわん…せん…ねわんせん…」  
今度は冗談とかじゃない?」

( akr\_0200) 頂から「 やいせり、おわん、わん? がじこひど  
どねがいののかわからぬよお……」

うつむく

( akr\_0202) あかづ「 んうと…………んうとね…………やれじやあ…………  
にぐだんこやく ど…………」

( akr\_0203) めかこ「 パーー エーー それだけやねん ト、マジナリーナー  
ねーちゃんが最初に聞いたの! 」

うつむく

( akr\_0204) あかり「…………」くだんしゃく、気に入つてたのにな

( akr\_0205) あかり 残ってるの?  
ううん……ねわんぜ……おわんちゃん……  
おわんぜ……ねわんわん……  
「……」

正面・近め（立ち上がりながら）

( akr\_0206) あかり  
…………おごれんせ、ヨイ わかすれぬかこ  
あかりに「れをおわんせ」に転われぬと  
おちんちんと呼せれるの…………

左耳・囁き

( akr\_0207) あかう「おちんぽがいいのかな? おちんぽ~.  
おちんぽって呼んでほしい?  
おちんぽおちんぽ、お・ち・ん・ぽ(せあと)」「

## 右耳・囁き（移動しながら）

( akr\_0208) あから「それとも……おちんちんが好き?  
なんだかおちんちんだとかわいい感じがある……  
おちんちんがいい?」

( akr\_0209) ねむる「おじやこのねむるかねこ」  
よしよしすくのはどうか。ねむるかねこ…………ねむるかねこ  
ねむるかねこ。…………ねむるかねこ。」

正面・座りながらうつむく（パリスを覗き込んだりするイメージ）

( akr\_0210) あか「……なんかおじやその」れ……やれいやれい出ぐれ  
大きくなつてない? やれに、ふにやふにやだつたのが……  
「やなに力チロチになつて……」

( akr\_0211) あか「やわらかく時せ、おわんわんして感」じ  
かわいかつたの」……大きくなると、  
おわんばが命じてゐ気がしてきだ……」

正面・近め（立ち上がる）

( akr\_0212) あか「……りん、決めた!  
じやあ、おじさんのがやわらかい時せ  
おわんわんして呼んで、硬くなつたら、おわんせいで呼ぶね」

左耳・近め（移動しながら）

( akr\_0213) あかり「や、今は力チカチだから……（囁く）おじやくのねわんせ、  
すく硬くなつてるよ。（囁く）おじやくのねわんせ、  
……」んな感じで使えよ、のかな」

正面・近め

( akr\_0214) あか「あねいそうだい……おじやくのねわんせ、  
余計な話をしても「あんなねこ……我慢してた?  
漏れそうになつてない?」

左耳・近め（移動しながら）

( akr\_0215) あか「じやあ、あかりが……おかえ逆掛のトドあせるか、  
ねこいじつてじこよい  
ねじやくせ、」か、おじやくのねこいじ田かへだよねー。」

( akr\_0216) あか「あ……でも、ねじやくのねわんせ……  
急に上を回るわやいで、おじやくカド連、おじやくのねこいじ……  
」ね、トド回せなよ、おじやくのねこいじやあなこよね……」

( akr\_0217) あか「……おじやくのねこいじあるのも大変なんだね。  
あかりは、」じに座りて、あとせしゃーひで  
するだけなの」……」

( akr\_0218) あか「ふふい。今度、あかりのおじやくのねこいじや  
見せてあげるね? おじさんみたじ、  
おわんせつじてないから、せつとぢりへつわんせ……」

( akr\_0219) あか「……あかりにも、」れつじてたのよかいたの」。  
ねじやくとお無いのおわんばがよかひだ……  
すく硬くておつれいヤツ……」

( akr\_0220) あかこ「 せ、おかこのふれこせじや、  
押さ回っしゃないで、やれりゅう」

（ akr\_0221）あかこ「 ねじれぐ、めぐるな」おしゃれのが路ひつじて  
おしゃれね……じこなあ……おじれぐ、おしゃれぐなあ……」

( akr\_0222) あかこ「 .....あれ、やくせもこわい くねくせ大きくなつてなつて」  
( akr\_0223) あかこ「 ねじれぐがおじいちゃん盐ひて、こじやうじかな」  
上に回せ! おじいが、あかのが、

( akr\_0224) あかこ「 .....硬じおおだい、ねじい」じれなじへだ。  
じやあ、やうじか盐せじうじゆのこここ」

( akr\_0225) あかこ「 .....おわくせを、ねじりかくする方法がある……。  
ねじりかくないだり、ねじれんのおわくせ下を回して  
上にねじい」じぞれぬむかしなるのかな」

( akr\_0226) あかこ「 .....じやあ、あかこがおわくせねじりかくするよ」  
ねじれぐするね。おじれぐ、何をしたからじこか教えて~」

左耳・近ぬ (ぐ) バを覗き込んだり顔を上げたりをアドリーヴド)

( akr\_0227) あかこ「 .....うそ、うそ、ねじれぐのねじれぐを、優しく  
握いて、あ、おわくせか！」に、握じ、やれい」  
びくびくして動じて、おじれぐがく。お  
ちんぽ痛くなじ~」

( akr\_0228) あかこ「 .....」へな風に、やせりじても痛くなじんだ  
「いやつやつて、なでなでするのよ。」おひ、じうじよい。  
ねじれぐ、やくせもう硬くなつておじれぐ」

( akr\_0229) あかこ「 ねじれぐ、じうじよい」に、ねじりかくするの。  
ねじり、我慢するの大変でしょ、う。  
早くシーシードやくよう」、あかこが、えぜぬか、  
次、次は、じうじよい、

( akr\_0230) あかこ「 .....もじとおわくせを強く握りて、手を動かす。  
動かすつて、じうじよいて、ねじれぐの、真っ赤になつて  
なんだか痛やく」

( akr\_0231) あかこ「 ん、えい、ねじれぐ向い、壁に押つて、えい、かわ  
れり、せぬい、ん、かわせあり、れり、れり、  
はあ、ねじれぐのを、なぬれざじるの？」

( akr\_0232) あかこ「 わせ、ひねや、かわせ、れり、ひねや、かわせ、  
ひねや、れり、ひねや、かわせ、れり、ひねや、  
ん、かわせ、ひねや、はあ、おび、あかこのが、  
ベタベタ」

続・左耳近め（ペニスを覗き込んだり顔を上げたりをアドリブで）

( akr\_0233) あかさ「…………あ、ねじねじダメだよお」。

あかりのツバがついてるのに、おちんぽを触つたら……汚いし……おちんぽ……あかりのツバだらけになつて……「

( akr\_0234) 鳩が「…………なんか…………おじやんぽ…………む」、「尻だ皿」  
なり ちやつ たよ? ツバでテカテカ光つて…………色も……  
その もより赤黒く…………」

( akr\_0235) あかり「でも……なんでだらう……おじさんのおへきじねかんせ見ひたら……あかりのお腹の奥……むずむずしてたり……カラダも温かくなつてきたの」

( akr\_0236) あかり「ん……あかりのツバド……滑るよひ」ひたかひ……あ……ねえ、おじさん聞い」べる、」これ……くわく……くわく……つて……」

( akr\_0237 ) エカコ「……………」  
おじやんのおちんせ触つてると……………むずむずが  
大きくなってきて……………不思議な気持ちになる……………」

左耳・囁き

( akr\_0238) ねから「…………ねわんせ、わい とくわをくちゃして、ふふふ、  
あかり、「これ好む……ほんにわしたい……  
まいにち、ねじやこのねわんせ触りたい…………」

( akr\_0240 ) もかこ「すいじ……おつやんのおかえり、上を回れりませぬ」  
手を離すと、お腹にピタリと当たるビタシビタシ

( akr\_0242 ) あかり「 こうやつで.....きゅうつで握った時に、おじさんが大きくなつてくれるとうれしいの.....あかり、おじさんのおつきいおちんぽが好きみたい.....」

( akr\_0243) めがこ「 ずっとおじやこのねむんせ鱗ひだらうと黙つて、  
イジワルかな……おちんせ、やねいかくしなこぢつて  
いいたら怒る?」

( akr\_0244 ) ねから「…………ふふ、黙つてだらわからなごよ、ねじねへ?  
あかりがおわんぱ触り始めてから、口も開きりませなしで  
す」「くだらしない顔してる…………」

続・左耳囁き

( akr\_0245) あかう「ねじれへせ.....」「んなふう」.....

おちんぽくちゅくちゅされるの、どんな気持ちなの？「どんな」とを考えて、おちんぽ硬くなつてるの？

( akr\_0246) エルフ「 あ！」 こ んで…… エルフは 田 が い て ん せ ん 坊 れ ん に な つ て

( akr\_0247 ) ねかふ「 .....せやへ、 エンゼルがねつへ 」 あぬじの唄たゞなあ .....

おじいちゃんがいながら……」

( akr\_0248 ) あかづ  
ん……くわゆ、くわゆだつたのが……ぐわゆ、ぐわゆになつてきてるね……おじさんのおちんぽ、反り返つてイルカが飛び跳ねてるみたいな形になつてる……

( akr\_0249) エカツ「お腹にまだ一升せりなご世がニニ

ふふふ、おちんぽの先でデコボコになつてて  
面白いね……あかり、わかつちやつた……

( akr\_0250) ねかづ「おじやんへ、おやんせの先をぐわぐわぐわれるのが好きなんだよ。……わかるよ、ねじねぐの」となんでもわかる」

( akr\_0251 ) あかう 「…………おうさんのそんな切なそうな声、初めて聞いた女の声みたいに、あー…………あー…………つていうの…………おうあの声、声が出来るボタンがあるのがほんとうにうれしい」

( akr\_0252 ) あかづ「…………せ、おた女の子みたじな顔…………あかづの手で  
先づせぐわゆぐわゆしたり…………  
おじれん、声が止まらないわやうしゅ…………」

( akr\_0254 ) めかづ「…………ねじねん、わいと顔出しだ〜 早く、ねこ〜!!」  
ビーナス。あかり、おじねんの顔つ通りにしだるよ〜。  
「うや〜〜ておちんせ触つてれば、柔らかくなつて  
ねこ〜!!」やきぬんだよね〜。」

( akr - 0255) あかり「おちんぽの先、すつ『い』おつかなくなってる……！」をぐちゅぐちゅしたら……ふふつ、おじさん足がガクガクしてゐ立つてられなくなつちゃつた？」

( akr\_0256) ふう「 でも、がんせりなことね」「 うわなーんや……  
あかりと違つて、おじれんせぬりね」「 うわあや  
いけないんだもんね……」

## 続・左耳騒ぐ

( akr\_0257) あかこ「 .....上手こうで何が?.. ねねんせを震ふるい」  
「上手こうとか下手こうあるの?..」

( akr\_0258) あかこ「 だつたひ.....あからこ! ねねんせを震ふるいになつたいなあ。  
それでね.....ねじれんを夢中こねねわやいの?..」

( akr\_0259) あかこ「 やいと、あからこ! ねねんせを震ふるいせしこせりひ  
思つても、うるよひに.....こなこか.....ねねんせの  
先からスルスルしたのが丑いわしいよ.....」

( akr\_0260) あかこ「 やいあよこやい ねじらやくひなひとあだ  
ねじれこ、上手こうのせじひへ。」

( akr\_0261) あかこ「 ねねんせのくじくを.....そ、上手こうのひねねむり  
震ふるい.....ああ、か」こ瓶がおひあくひなひと  
「」

( akr\_0262) あかこ「 女の子みたいな瓶から.....試みたいな瓶になひて.....  
上手こうやつて、手首をひねひて震ふるのがじいんだね.....先ひほ、  
かいとねいあくひなひとあひるもんね.....」

( akr\_0263) あかこ「 ダメだよ、ねじれこ。ねねんせと血介の呪どうひにならん.....  
ねじれこ! 上手こうやなこどしよひへ。」

( akr\_0264) あかこ「 .....やい。 もう丑ねやうひ、ねじれこ! がや  
でも、ねねんせすいと硬じままだよ。 こんなに先ひほの  
トロボロも大きくなひて.....あからこの指が引つかかる度に、  
腰が震ふわやつしる.....」

( akr\_0265) あかこ「 .....」れせへ ねねんせの先を.....  
手のひひでぐらぐらする.....ねじれこのはが  
手こぼれわいつれこ.....あからこもむかはるかしてくわ.....」

( akr\_0266) あかこ「 ねじれこも、ねねんせむすむすしてゐる。 .....あからこと回じ  
気持ちになつてゐるかな.....ほひ.....先ひほからこんなに  
あふれて.....ね震ふらしだみたいになつたやつたね.....」

( akr\_0267) あかこ「 せあはあしてゐねじれこわいこ.....  
ねねんせ、破裂しやうになつてゐるよ。  
かいと先ひほひねつてあげるね!」上手こう  
上手こうやつて、ぐらぐらぐらうて.....」

( akr\_0268) あかこ「 そ.....が、丑ねみ。 ねじれこ! 丑ねみ。  
じやあ、ねねんせトに向かはなしよ.....そん、でも.....  
かいこ力で反ひじるから.....大丈夫だよなあ。  
ねねんせ、折れないよね?..」

続・左耳囁き

( akr\_0269 ) つかつ そそり、あかりが黙れりてゐるかふ……  
ねじりしていふよ……いつぱい丑つて……  
おじれそが丑してゐるか、あかりに見せり……」

※ S E .. 射精

( akr\_0270 ) あああ「 え……ええい、あい…………えい、えい………… お、おじしゃい、  
おじしゃい…………白い…………やあい、おかんせ熱い…………  
ねじねじ、なんか変だよい…………白い…………おじしゃいが丑かやい うる  
よい………… 」

( akr\_0271 ) 嘘かう「…………あ…………でも…………おわんぜ、やわらかくなつて…………  
血じねじい」…………わの丑ない?…………あかりのヒ漬け…………  
おじやくのせシーシージやなくて、どひをじぱを丑のかな」

( akr\_0272 ) 嘘かう「…………ああ…………まだ丑のひ…………今度は…………  
白くないおじい」…………おじやく、」れだよね?…………  
「れがしたかつたんだよね?」

( akr\_0273 ) めかこ「あからが……おちんせ、持つててあげるか、」放心して、おしゃべりして、やうと我慢してたんだもんね……せ、」

( akr\_0274 ) #かづ「ふふり……おじさんつて、「んな風におこへ」するんだね。やつぱり、おちんぽの先から出すんだ……」「やあ、さつきひゅうひゅしてたのは何?」あれはおしい「じやないの?」」

( akr\_0275) あかり「……まだまだ、あかりの知らない」とがいつほいあるんだね」  
( akr\_0276) ねか「ねこの」を、ソーラーペルトのねじれぐわわいいけど……  
ねかくせかく、皿のわくわくしてねじさんも好き……」

( akr\_0277 ) めかこ「 今日から神田、あかりがねじれんにねづひ りやせじ ねざめ  
かいね……ねじ……じきれせ、だけど……  
白いひをへひをも……せせじねづたし な……」

( akr\_0278) めかこ「ふう、あかりおじさんのおわんぽ触のだい好き~」

正面・近め

( akr\_0279) もかう「 ねじ.....ねじへい、 トトロで もがいた。  
エヌシーピーピー.....かわい。」

※トラック4へ